

1 人ひとりの物事の見え方の違いを知って、考えよう！

取り組み手順

- ① 昨日の 1 時間目化学の授業直前の休み時間、理科室での出来事について それぞれの見聞きした事実を、順を追って書き出す。
- ② 誰かの行動、誰かの言葉を見聞きしたときの、自分の感情「なんでこの人～なんだよ?!」と感じたとか、「その通りだと思った」「それは違うんじゃないかと思った」「内容はそうだけど言い方がもっとこうだったら良いんじゃないかと思った」など、自分自身の感情・感じたこと考えたことを書き出す。
- ③ 客観的に この時のこの人の気持ちはきੱとこうだったんじゃないか、ああだったんじゃないか と読み取ったことを書き込む

日時4月30日 17:15過ぎ 場所：理科室 氏名：ユウト Y

① 見聞きした出来事	② 自分の感情	③ 読み取った 他者の感情
<p>・ヒカリが最後に理科室に入った。(ドア閉めず)</p> <p>「最後の奴がドア閉めろよ」と言ったら、閉めずに結局オレがドアを閉めた。</p>	<p>ヒカリの言い方に腹が立った。しかも、「殺しちゃうから」みたいなことを言っててビックリした。</p> <p>ドア閉めろよって言ったあと「何、その言い方」って言われて、普通に話しかけただけだったのに、それに腹が立った。ショウタがめっちゃ笑ってた。</p> <p>今は、全然平気なんで、いっときの感情で動くのはよくないとわかっていても、腹が立ったら、言いたくなってしまう。</p>	<p>未記入</p>

書いたことによって、見えてきたこと。考えたこと。

マジで、いっときの感情で動いてはダメだと思いました。
少しでも人を傷つけてしまったことを後悔しています。

授業（渡部の話）から、感じたこと、考えたこと。
友達は大事にします。社会に出る前に人間関係をちゃんとうまくできるようにする。

1 人ひとりの物事の見え方の違いを知って、考えよう！

取り組み手順

- ① 昨日の1時間目化学の授業直前の休み時間、理科室での出来事について それぞれの見聞きした事実を、順を追って書き出す。
- ② 誰かの行動、誰かの言葉を見聞きしたときの、自分の感情「なんでこの人～なんだよ?!」と感じたとか、「その通りだと思った」「それは違うんじゃないかと思った」「内容はそうだけど言い方がもっとこうだったら良いんじゃないかと思った」など、自分自身の感情・感じたこと考えたことを書き出す。
- ③ 客観的に この時のこの人の気持ちはきっこうだったんじゃないか、ああだったんじゃないか と読み取ったことを書き込む

日時4月30日 17:15過ぎ 場所：理科室

氏名：ショウタ S

① 見聞きした出来事	② 自分の感情	③ 読み取った 他者の感情
<p>・ヒカリが最後に理科室に入った。(ドア閉めず)</p> <p>・ユウトが最後に入ったヒカリに「最後なんだからドア閉めろよ」と言っていた。それに対してヒカリは反発。「何でお前はそんな言い方 しかできないんだ?!」と 言った。</p> <p>・ユウトが「オレは普通にドア閉めろとしか言ってねえよ」 と言う。</p> <p>・ヒカリが「言い方がウザいんだよ!」と言い、</p> <p>・ユウトが「お前、バイト辞める時もそんな感じだったの?」と言 い、ヒカリは「当たり前だろ。ウ ザい奴はウザい。殴って殺すだ け。」 と言った。</p>	<p>おもしろかった。(言い合い が) オレ視点は、ふつう友達な んだから、ユウトの言い方 は別に問題じゃなかった。</p> <p>ヒカリはイライラしていた だけだと思う。</p>	<p>ヒカリ(イライラ) ユウト(最初は普通に指摘 しただけなのに、ガヤガヤ 言われてイライラ) オレ(おもしろかった) ライム(おもしろい) ツチオ(「止めないと!」 って思っていたと思う)</p>

書いたことによって、見えてきたこと。考えたこと。 未記入

授業(渡部の話)から、感じたこと、考えたこと。 未記入

1 人ひとりの物事の見え方の違いを知って、考えよう！

取り組み手順

- ① 昨日の1時間目化学の授業直前の休み時間、理科室での出来事について それぞれの見聞きした事実を、順を追って書き出す。
- ② 誰かの行動、誰かの言葉を見聞きしたときの、自分の感情「なんでこの人～なんだよ?!」と感じたとか、「その通りだと思った」「それは違うんじゃないかと思った」「内容はそうだけど言い方がもっとこうだったら良いんじゃないかと思った」など、自分自身の感情・感じたこと考えたことを書き出す。
- ③ 客観的に この時のこの人の気持ちはきੱとこうだったんじゃないか、ああったんじゃないか と読み取ったことを書き込む

日時4月30日 17:15過ぎ 場所：理科室 氏名：ライム R

① 見聞きした出来事	② 自分の感情	③ 読み取った 他者の感情
<ul style="list-style-type: none">・ヒカリが最後に理科室に入った。(ドア閉めず)・ユウトが「最後の奴、ドア閉めろよ」と言う。←やや強め・ヒカリが反発「はあ？」みたいな・ヒカリ「何で閉めなきゃなんないんだよ!!」みたいな。・ヒカリ…〔未記入のまま〕	<ul style="list-style-type: none">・くだらない言い合いで半笑い・しょうもない・どっちもどっち	<ul style="list-style-type: none">・ショウタ：爆笑・ツチオ：引き気味・ヒカリとユウト：怒る

書いたことによって、見えてきたこと。考えたこと。

特にない。最初からお互い悪い。言い方も、ドアを閉めないことも
ユウトがいつも体育の時に言っている。ヒカリも普段から聞いている。(もちろん学年全体も)

授業（渡部の話）から、感じたこと、考えたこと。

排除しないのはもちろん。反対に、どうしたら排除されないかも考えるべき。簡単・難しいとかではなく、他人のクセ、いつも言っている(大事にしている)こと、性格を理解すべき。大人もできない奴らばっか。そうならないためにも、今から身につけるべき。親しき仲にも礼儀あり。仲が良い人かどうかは問わずね。

1 人ひとりの物事の見え方の違いを知って、考えよう！

取り組み手順

- ① 昨日の 1 時間目化学の授業直前の休み時間、理科室での出来事について それぞれの見聞きした事実を、順を追って書き出す。
- ② 誰かの行動、誰かの言葉を見聞きしたときの、自分の感情「なんでこの人～なんだよ?!」と感じたとか、「その通りだと思った」「それは違うんじゃないかと思った」「内容はそうだけど言い方がもっとこうだったら良いんじゃないかと思った」など、自分自身の感情・感じたこと考えたことを書き出す。
- ③ 客観的に この時のこの人の気持ちはきੱとこうだったんじゃないか、ああだったんじゃないか と読み取ったことを書き込む

日時4月30日 17:15過ぎ 場所：理科室 氏名：ツチオ T

① 見聞きした出来事	② 自分の感情	③ 読み取った 他者の感情
<ul style="list-style-type: none">・ヒカリが最後に理科室に入った。(ドア閉めず)・ユウト「最後の奴閉めろよ」 (あからさまにイヤなふう に、バンとドアを閉める) 「何で閉めねえんだよ」・ヒカリ「言われてないから 閉めなかった」・ユウト「言われなけりゃ閉 めないのかよ」 <p>ここのやりとりは思い出せない。</p> <ul style="list-style-type: none">・ヒカリが何か言った。・それに対してユウトは…。 「脅迫だ！オレ殺される！」 何でそう言ったのか、ヒカリ に聞いたところ ヒカリ「父親がそういうタイ プで、何か言われたらそうい うといいと言われた。だから 言ってしまった」	<ul style="list-style-type: none">・なんとも思わず。・閉めろって思うなら、自分で やればいい。もしくは、 「ドア閉めてもらっていい？」 と言うといい。・別に言われてないならよくない？ <p>昨日の給食時に話したこと</p> <ul style="list-style-type: none">・怖いけど言われ続けるのはイヤだから言ったのではないか？・強がらないとやってられないのでは？・でも少し言い過ぎたと思う。 (でも、何を言ったのかは思い出せない)	<ul style="list-style-type: none">・自分とヒカリと先生以外大爆笑 <p>↓</p> <p>なぜ笑う？</p>

授業（渡部の話）から、感じたこと、考えたこと。

僕自身も居づらいと思うことが多々ある。言動に気をつけるべき。

1 人ひとりの物事の見え方の違いを知って、考えよう！

取り組み手順

- ① 昨日の1時間目化学の授業直前の休み時間、理科室での出来事について それぞれの見聞きした事実を、順を追って書き出す。
- ② 誰かの行動、誰かの言葉を見聞きしたときの、自分の感情「なんでこの人～なんだよ?!」と感じたとか、「その通りだと思った」「それは違うんじゃないかと思った」「内容はそうだけど言い方がもっとこうだったら良いんじゃないかと思った」など、自分自身の感情・感じたこと考えたことを書き出す。
- ③ 客観的に この時のこの人の気持ちはきつこうだったんじゃないか、ああだったんじゃないか と読み取ったことを書き込む

日時4月30日 17:15過ぎ 場所：理科室

氏名：〔ヒカリ H〕

① 見聞きした出来事	② 自分の感情	③ 読み取った 他者の感情
<p>・ヒカリが最後に理科室に入った。（ドア閉めず）</p> <p>・気づいたひとがドアを閉めるんだと思っていたから言われてないから動けなかった。</p>	<p>・強い口調+むかつく言葉+攻める。自分（1人）ではやらず、相手にやらそうとするだけのただのクズ。</p> <p>てか、自分は口うるさい奴、そして自分はやらずに相手に強く言う奴、バカにする奴は許せない性格で、いたらとことん睨み強く当たる考えである。</p> <p>上下関係なしに、僕は言う。言われていなければ、動く必要はないと思っているから、「自分から動け!」と言われるとものすごくむかつく。</p> <p>じゃあ言ったお前が動けよと口に出そうになる。</p>	<p>いつも無口だったやつが強く言いやがった（びっくり）</p> <p>なぜ?けんか腰なんだと思っていた人もいた。</p> <p>中には、面白がっていた人もいた。</p>

書いたことによって、見えてきたこと。考えたこと。 未記入

授業（渡部の話）から、感じたこと、考えたこと。 未記入

1 人ひとりの物事の見え方の違いを知って、考えよう！

取り組み手順

- ① 昨日の 1 時間目化学の授業直前の休み時間、理科室での出来事について それぞれの見聞きした事実を、順を追って書き出す。
- ② 誰かの行動、誰かの言葉を見聞きしたときの、自分の感情「なんでこの人～なんだよ?!」と感じたとか、「その通りだと思った」「それは違うんじゃないかと思った」「内容はそうだけど言い方がもっとこうだったら良いんじゃないかと思った」など、自分自身の感情・感じたこと考えたことを書き出す。
- ③ 客観的に この時のこの人の気持ちはきੱとこうだったんじゃないか、ああだったんじゃないか と読み取ったことを書き込む

日時4月30日 17:15過ぎ 場所：理科室 氏名：〔デイビット D〕欠席

① 見聞きした出来事	② 自分の感情	③ 読み取った 他者の感情
・ヒカリが最後に理科室に入った。(ドア閉めず)		

書いたことによって、見えてきたこと。考えたこと。

授業（渡部の話）から、感じたこと、考えたこと。